



会報

DISTRICT 353

CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

例会場 鶴岡市本町二丁目
ひ さ じ ゃ

例会日 毎週 火曜日
P.M 12:30~1:30

事務所 鶴岡市馬場町
商 工 会 議 所 内
☎ 0235 ☎ 5775

会 長 : 三 井 賢 二

幹 事 : 高 橋 正 太 郎

"Good will begins with you"

By ERNST G. BREITHOLTZ

「善意は先ずあなたから」

1971.1972

第 614 号 1971.8.3 (火) (はれ)

会報はご家族みんなで読みましょう

〔I〕出席報告

本日	会員数	62名	欠	阿宗君、荒明君、張君、長谷川(文)君、早坂(徳)君、橋浦君、平田君、五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君、中山君、嶺岸君、三浦君、三井(健)君、小野寺君、齋藤(米)君、笹原君、藪田君 (計17名)
の	出席数	45名	席	
出	出席率	72.58%	数	
席				

〔III〕会員誕生

安藤定助君、早坂源四郎君、三井徹君、三井賢二君、黒谷正夫君(7月)

奥様誕生

三井章(健)様、佐藤奈津子(伊和治)様、手塚峰子様
先月分 齋藤信子様、佐々木節子様

前回	出席率	71.43%	メ	阿宗君-新庄RC
修正	出席数	55名	イク	藪田君-米沢RC
確定	出席率	88.71%	アップ	五十嵐(三)君-温海RC
出席				安藤、五十嵐(伊)君、金井君、嶺岸君、中山君、齋藤(信)君

〔IV〕皆出席

8年間皆出席 五十嵐伊市郎君
7月100%出席

阿宗君、阿部(公)君、阿部(襄)君、安藤君、張君、長谷川(悦)君、早坂(源)君、佐藤君、橋浦君、市川君、飯白君、池内君、石井君、石黒君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君、五十嵐(八)君、海東君、田中君、金井君、上林君、黒谷君、小花君、小池君、嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、小野寺君、大川君、廖君、齋藤(得)君、佐藤(伊)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、鈴木(善)君、新穂君、鈴木(弥)君、篠原君、高橋君、小松君、手塚君、津田君、富樫君、上野君、鷺田君、藪田君 48名

〔II〕お客さま

今回	鶴岡西	鶴岡西	鶴岡西
4名	富樫 君	菅原年雄君	原田行雄君
前回まで			
11名	鶴岡西		
8月計	羽根田		
15名	正吉君		

〔V〕ゲスト紹介(会長)

1. 元柏戸 現鏡山親方
2. 外務省アジア局中国課勤務 加藤紘一
3. 元会員 庄司繁太郎

〔食 事〕

〔VI〕会長報告

1. 金野松弘君(日本酒販売)脱会承認
2. 五十嵐一郎 病気のため庄内病院入院

〔VII〕ゲストのお話(要旨)

1. 鏡山親方

只今紹介頂きました鏡山です。先月29日より簡引に宿舎に來ています。一度御見学にお出掛け下さい。

◎8月16日5時より、ちゃんこ鍋の会

1口5,000円です。多数御参加下さい(幹事)

2. 加藤紘一氏(ニクソン訪中)

ロータリーには3回程おうかがいしました。先月16日ニクソン訪中発表によって、日本でも相当大きい問題になっています。

“週刊ポスト”によると、“ニクソン—毛沢東会談は北京で行われる”と3ヶ月前より発表して、大々的に売っていたという状況です。

専門家筋では、来るべきものが来たかという受取り方をされましたが、政治、財界では非常なショックを受けた様です。国会の答弁等もめまぐるしく変わっています。総理の答弁も後向きになったり前向きになったりしています。経済界では新日鉄、J.A.L等も日華協力委員会に健康上の理由をつけて、欠席したりしています。日本の中国政策の原点は2つあります。その1つは蒋介石が日本が戦争に破れた時に、“うらみに報ゆるに徳もつてす”つまり賠償も不要、日本兵も捕虜にしないで返すという政策に対する恩義がその1つの原点です。

更に第2番目はアメリカの中国政策です。具体的に言うとアメリカは実は1949年の末期頃(中共の北京政府の出来た頃)もう国民政府は、もうとことんまで落ちぶれてしまったとして、見捨てようとした時期がありました。昭和24年9、10、11月には、アメリカ国務省国防省で非常に大きな議論がありました。翌年25年の最頃にはアチソン・トルーマンは“台湾は中国の一部であることは今更議論することもない”と云いきっています。この時突発したのが朝鮮戦争です。

この時点で“台湾はアメリカが守る”と云うことをはっきり云っています。これにならう日本も自由主義陣営の一員として台湾を守るという様になった訳です。当時日本が平和条約を結ぶ相手として、台湾を選ぶか、北京を選ぶか、について大きな議論がありまし

たが、当時の吉田首相は朝鮮戦争の後であること及びアメリカの意向をも考慮に入れて台湾を選ぶことになった訳です。

この2つの原点の中で、アメリカの中国政策がここで大きく変わったことによって、日本の政策の一つの原点がここで変化する様になる訳です。もう一つの原点については相当の議論がある様です。

日本国内にある極めて常識的な議論、つまり1千4百万の人口を今まで本家として来たことに対する国際信義も重要であるが、然し我々が現に戦争をし、惨過を与えたのはまぎれもなく中国大陸で、そこに居る8億の人達に対して、戦争のわびも申しないし、戦争終了の条約を結んでいないということはおかしいではないか、ということから、中共との関係を良くしなさい、という議論が非常に強い様です。私のみるところでは、今後その方向は急激に強まり、極く近い将来に、この問題は結着する可能性があります。そうしますと、もう1つ残っていますが、今朝アメリカからのニュースとして発表された様ですが、中国代表権問題(国連に於ける)があります。

これは、逆重要事項方式と、我々呼んでおりまして、今までは“中共を入れて台湾を追い出す”という取換えをすること自体重要である、と云ったのですが最近、北京が入ることは黙っているが、“台湾を追い出す”ということはあまりにも可哀そうではないか”ということで、これは“半数が賛成したと云ってやれる問題ではなくて、3/4以上の賛成がなければやるべきでないではないか”という決議案を出すという方向です。我々の間では相前から判っていました。この決議案が通るか通らないかという問題があります。

この問題について、我々としては充分に票読みもしていますし、情報もとっています。然しそれがどういう可能性になるかについては、申し上げられない状態です。今後日本と中国との関係は大きく転換する時期になります。これからの政治の中心は5~6年間中国問題ということになると思われます。

〔VIII〕幹事報告

会報到着→大阪RC

暑中見舞→頼俊雄

認証状伝達式→郡山南RC 9月19日(日)

359地区年次大会→10月16日(土)17日

清水市民会館

鶴岡西RC→庄内RC親睦ゴルフ大会

及び納涼家族会の案内

ゴルフ 8月27日(金)10時湯の浜CC

コンペファイ1,000円

家族会 会員1,500円 家族1,000円 子供500円

家族会 同時 5時30分 満光園にて